

## 埋蔵文化財最新発掘調査情報

◆朝霞市では、現在69か所の遺跡が存在しています。

川や緑が多く都心にも近い朝霞市においては、宅地造成やマンション建設など大規模開発工事が多いため、記録保存のための発掘調査が数多く行われています。そのなかで、最新の調査成果をお伝えします。

### みやだい・みやはらいせき 宮台・宮原遺跡第16地点

調査地：朝霞市根岸台二丁目地内

期間：令和4年4月16日～5月6日

調査面積：18.00㎡

◆今回の調査では、住居跡、ピットが確認されました。

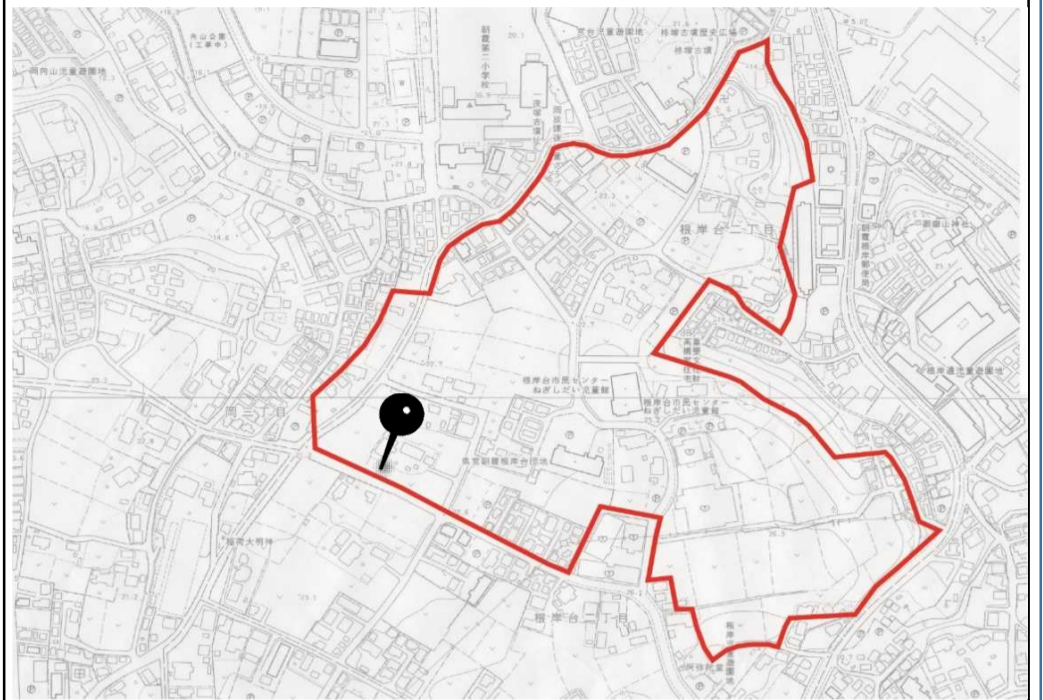
遺物は、土師器、須恵器等が出土しました。

検出した住居跡は全体の約1/3程度であり、その大半は調査区外へと広がり、広がっている部分は道路や擁壁の造成等により壊されていました。

しかし、カマド跡や住居内壁際に掘られる壁溝（へきこう）、また貼り床といった構造物が部分的に確認でき、さらに住居跡内から須恵器が出土したことから平安時代の住居跡であることが判明しました。

同様の住居跡は、今回の調査地点に隣接している場所や、その周辺からも多数検出しています。

少し範囲を広げると、これまでの発掘調査結果から谷を挟んだ岡方面にも住居跡の広がりが確認でき、谷を挟んで岡・根岸台地区双方に集落が広がっていたことが推測できます。



宮台・宮原遺跡第16地点 位置図

- = 発掘調査で平安時代の住居跡を検出した地点
- (点線) = 試掘調査で平安時代の住居跡と推定される遺構を検出した地点
- = 遺跡範囲

どんな生活をして  
いたのかな～



おさしのフロントあさか

